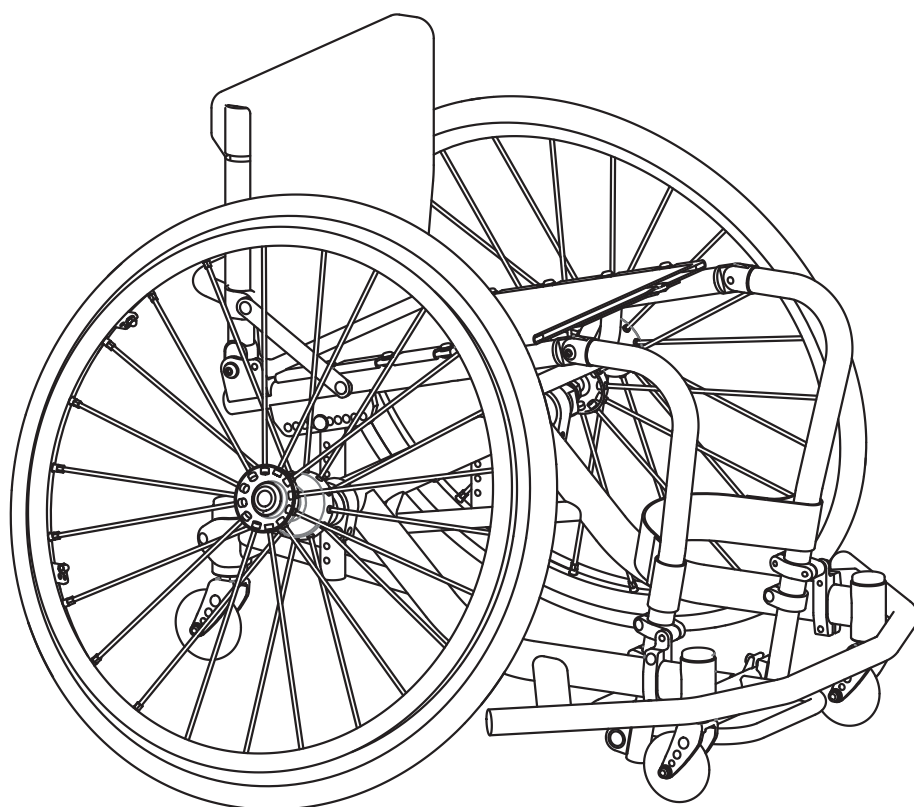




～ 競技用 ～

取扱説明書

保存用



愛の輪
愛のいす



MATSUNAGA

このたびは、(株)松永製作所の車椅子をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が説明されています。

ご使用になる前には、必ずお読みください。

安全にご使用していただくために、ご自身・お買い求めの販売店(有料)等で定期的に点検をしていただくようお願いいたします。

車椅子が、使用者の身体に合わない状態で乗らないでください。健康をそこなう恐れがあります。
そのような場合は、購入されたお店または、かかりつけの病院にご相談ください。

- お買い上げの製品は改良などによりこの「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店、または直接弊社までお問い合わせください。

ご使用前に

出荷時には検査をしておりますが、ご使用前に次のご確認をお願いいたします。

- 箱が破損したり、濡れたりしていないか。
- 各部の破損・キズ、フレームのゆがみ、ボルト・ナットや部品の脱落はないか。
- 付属品はすべて揃っているか。
- タイヤの空気圧は適正か。(タイヤを指で押さえ確認してください。)

もし異常があればご使用にならず、すぐにお買い求めの販売店または、弊社までご連絡ください。

●機種一覧

| | |
|----------|------|
| ● B-MAX | DT |
| | DTX |
| | TK |
| | AJ |
| ● TRY-PO | |
| | KIDS |
| | AJ |
| ● F-MAX | |
| ● T-MAX | TK |
| | AJ |
| ● U-MAX | TK |
| | AJ |
| ● Y-MAX | AJ |

※YouTubeにTRY-POの調整方法が掲載されております。



目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 安全にお使いになるためのご注意 | 2 |
| 各部の名称 | 4 |
| 安全にお使いになるための使用方法 | 6 |
| 後座高の調整 | 6 |
| 前座高の調整 | 7 |
| 車軸位置の前後調整 | 8 |
| タイヤ・フレーム間の調整 | 9 |
| トーイン・トーアウトの調整 | 9 |
| リアキャストの高さ調整 | 10 |
| バックサポートの高さ調整 | 10 |
| バックサポートの角度調整 | 11 |
| フットサポートの高さ調整 | 12 |
| フットサポートの角度調整 | 12 |
| フットサポートの前後調整 | 13 |
| 着脱駆動輪の外し方 | 14 |
| 着脱駆動輪の取り付け方 | 14 |
| もしこんなトラブルが発生したときは | 15 |
| メンテナンス | 15 |
| 点検 | 15 |
| お手入れ方法 | 15 |
| 保管場所・アフターサービス・保証について・商標について | 16 |

安全にお使いになるためのご注意



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。



注意

- B-MAXは、バスケットボール、T-MAXは、テニス、U-MAXは、バドミントン、Y-MAXは、ソフトボール、F-MAXは、フェンシング専用の競技用車椅子です。TRY-PO、TRY-PO KIDS、TRY-PO AJは、スポーツ入門車椅子です。
それぞれの競技以外の目的で使用しないでください。
- 本車椅子には、駐車ブレーキがありません。
移乗の際は、十分に注意をしてください。
- 駆動輪を外した状態で使用しないでください。
転倒・転落事故の原因になります。
- 車椅子のセッティングを変更した際は、必ず左右の位置、寸法が合っていることを確認してください。
左右の位置・寸法が合っていない状態で使用しますと、車椅子が破損する場合があります。
- フレームの表面処理に塗装をしてあるものに関しましては、調整時にキズや塗装はがれが生じる場合がございます。
- タイヤは、高圧700kPa(7.0kgf/cm²)(101.5PSI)で使用するため、キズや破損がないか使用前には必ず確認してください。
- 前輪キャストのタイヤ径は72mmを設定しております。(Y-MAX、F-MAXは除く)
交換する際は、タイヤ径72mmの物をご使用ください。72mmを超える物は、キャストフォークと干渉するため、取り付け不可です。また、72mm未満の物を使用されますと、前座高が低くなります。
- タイヤ・フレーム間を変更する際は、必ずトーイン・トーアウトの狂いがないか確認してください。トーイン・トーアウトが狂った状態で使用されますと、直進不良がおこったり、フレームに負荷がかかり破損する場合があります。
- ノーパンクタイヤの使用は不可です。
- 本車椅子には、ブレーキが装着されていませんので、必ず駆動輪を外して保管してください。
駆動輪を外しても動くため、動かないように注意してください。
- 輸送(陸送、空輸など)の際は、必ず木箱または段ボール箱に入れてください。
輸送中に破損するおそれがあります。
- 故障、異常のある場合は、直ちに使用を中止してください。
ケガ、転倒・転落事故等の原因となります。
- 使用中は駆動輪中央のロックボタンを押さないでください。
駆動輪が外れて、転倒・転落事故の原因となります。
- フットサポートの上に乗って乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないでください。
車椅子がバランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。
- 高温になる場所や火気の近くに置かないでください。
タイヤがパンクしたり、シートが燃え、火災の原因となります。
- 車椅子のシートの上に立ち上がらないでください。
転倒・転落事故の原因となります。
- ご使用前には、駆動輪が確実に固定されていることを確認してください。
使用中に外れ、転倒・転落事故の原因となります。

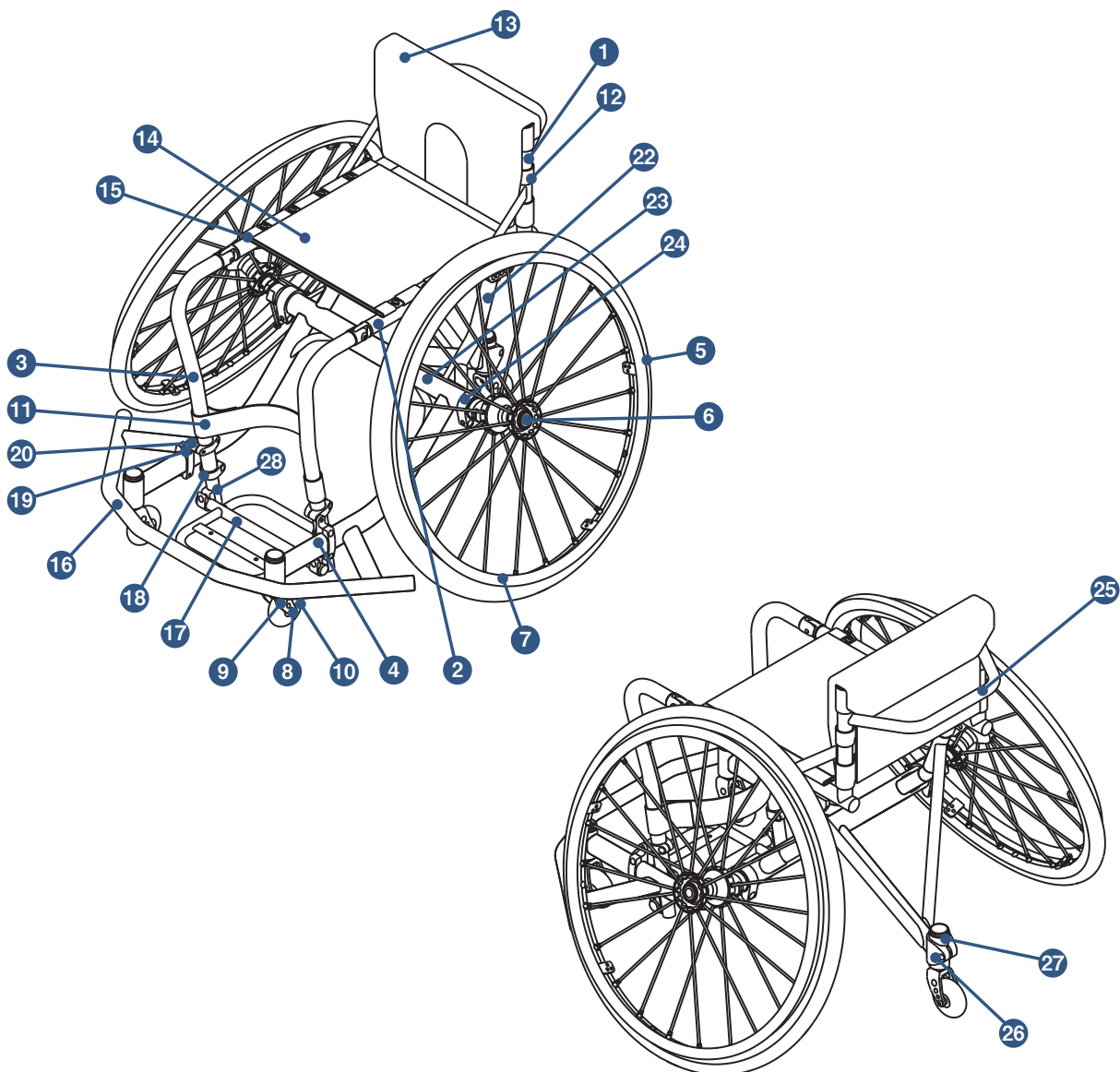
注意

- 車椅子の乗り降りは、路面の平坦な場所で行なってください。
バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因になります。
- 乗り降りの際、介助が必要な方は、必ず介助者が付き添ってください。
バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。
- フットサポートに足が乗っているか確認して走行してください。
ケガや転倒・転落事故の原因となります。
- タイヤを持って操作可能です。
本車椅子は競技専用車椅子なので、それぞれのプレースタイルに合わせて使用してください。
- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。
手や指を挟んで、ケガ等する原因となります。
- 車椅子を横向きに倒して上に物を置かないでください。
物の重みで車輪フレームが曲がる等故障の原因となります。
- キャスト輪固定ボルトを締めた後は、必ずキャストが回転することを確認してください。
回転しない場合は、回転するようボルト・ナットを調整してください。
- 移動中、つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。
ケガの原因となります。
- 車椅子に巻き込まれやすい服装は避けてください。
ホイールやキャストなどに巻き込まれ、事故や転倒などのおそれがあります。
- コート等、競技する場所以外では使用しないでください。
事故や転倒などのおそれがあります。また、車椅子を損傷させるおそれがあります。
この製品は、平坦地(コート)専用です。一般道や山岳、荒地、砂地、河原、水中、泥地などオフロードでは、使用しないでください。

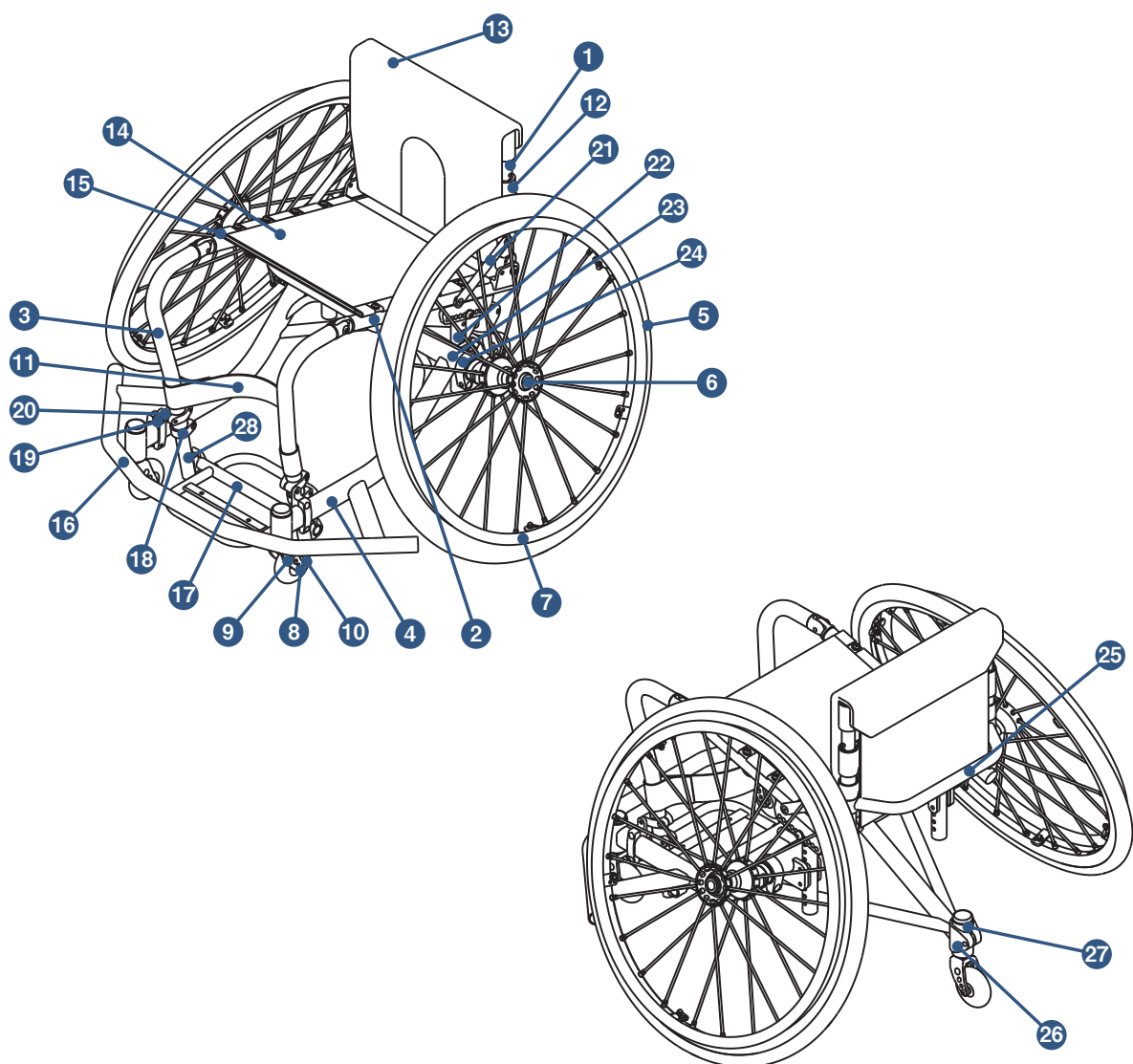
各部の名称

- | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|
| ① バックサポートパイプ | ⑪ レッグサポート | ⑳ 背角度調整FB |
| ② シートフレーム | ⑫ 背張りベルト | ㉑ 後座高高さ調整パイプ |
| ③ レッグパイプ | ⑬ 背クッション | ㉒ キャンバーチューブ |
| ④ ベースフレーム | ⑭ 座シート | ㉓ キャンバーソケット固定クランプ |
| ⑤ 駆動輪 | ⑮ 座シート芯金 | ㉔ 背パイプ補強 |
| ⑥ 着脱式クイックシャフト | ⑯ バンパー | ㉕ リアキャスト高さ調整クランプ |
| ⑦ ハンドリム | ⑰ フットサポート | ㉖ リアキャスト |
| ⑧ キャスタ・アクスルシャフト | ⑱ フットサポート固定クランプ | ㉗ フットサポートポスト |
| ⑨ キャスタフォーク | ㉑ レッグパイプ取付クランプA | |
| ⑩ キャスタ車輪 | ㉒ レッグパイプ取付クランプB | |

TKタイプ/DTタイプ



AJタイプ



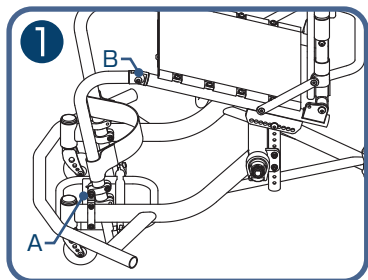
安全にお使いになるための使用方法

後座高の調整

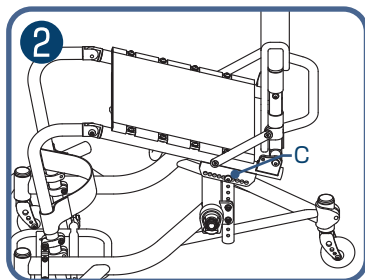
該当機種 AJタイプ

使用工具 ・対辺5mm六角レンチ ・対辺10mmスパナ ・対辺13mmスパナ

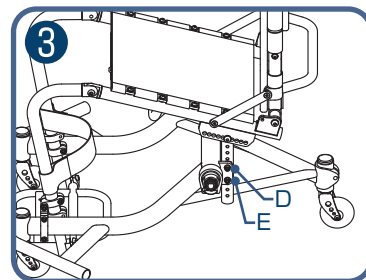
① 対辺5mm六角レンチを用いA、Bのネジを緩めます。



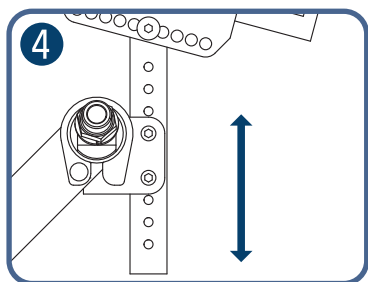
② 対辺5mmの六角レンチと対辺13mmのスパナを用いCのネジを緩めます。



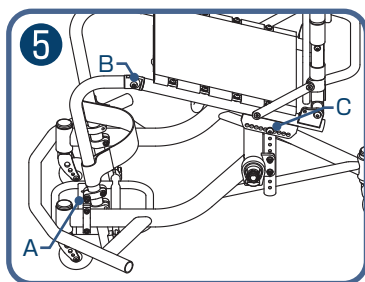
③ 対辺5mmの六角レンチと対辺10mmのスパナを用いD、Eのネジを外します。



④ 後座高調整パイプを最適な位置に調整し③で外したD、Eのネジで固定します。



⑤ ①②で緩めたA、B、Cのネジを固定します。



* 適正トルク 10N・m

⚠ 注意

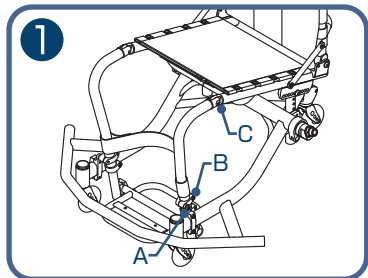
- 後座高調整パイプの固定位置が左右合っていることを確認してください。
- 調整した際に緩めたネジが、確実に固定されているか確認してください。
- 調整位置は操作可能な範囲で行ってください。無理な設定で操作しますと、ケガの原因になります。

前座高の調整

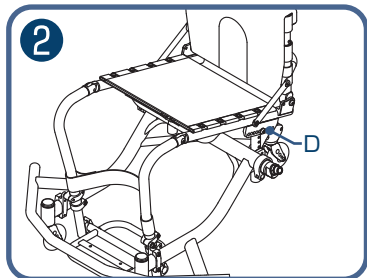
該当機種 AJタイプ/TKタイプ/DTタイプ

使用工具 ・対辺5mm六角レンチ ・対辺13mmスパナ

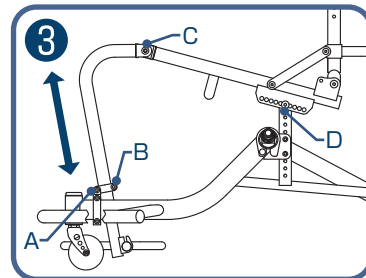
- ① 対辺5mmの六角レンチを用いA、B、Cのネジを緩めます。



- ② 対辺5mmの六角レンチと対辺13mmのスパナを用いDのネジを緩めます。



- ③ レッグパイプを最適な位置に調整し②で緩めたA、B、C、Dのネジを固定します。



- ④ レッグパイプの動きが悪い場合は、フットサポートを外して作業するとスムーズにできます。

* 適正トルク 10N・m

⚠ 注意

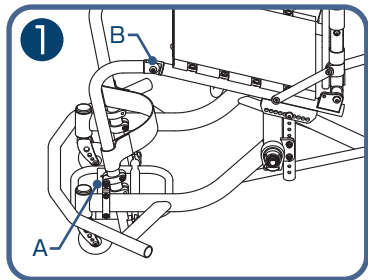
- 前座高の左右の高さが合っているか確認してください。
- 調整した際に緩めたネジが、確実に固定されているか確認してください。
- 調整位置は操作可能な範囲で行ってください。無理な設定で操作しますと、ケガの原因になります。

車軸位置の前後調整

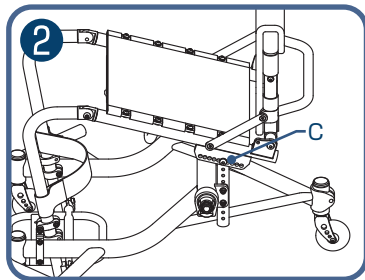
該当機種 AJタイプ/TKタイプ/DTタイプ/TRY-POタイプ

使用工具 対辺5mm六角レンチ 対辺13mmスパナ

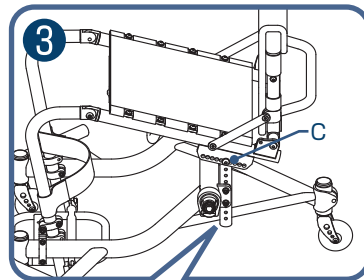
① 対辺5mmの六角レンチを用いA、Bのネジを緩めます。



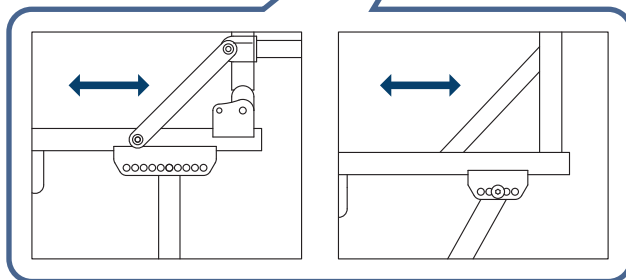
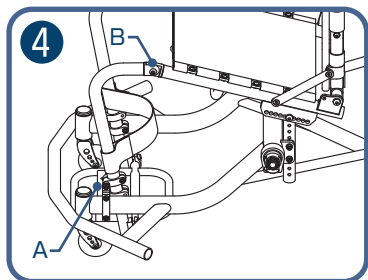
② 対辺5mmの六角レンチと対辺13mmのスパナを用いCのネジを外します。



③ シートフレームを前または後に動かして最適な位置に調整し、②で外したネジで固定します。



④ ①で緩めたA、Bのネジを固定します。



* 適正トルク 10N・m

⚠ 注意

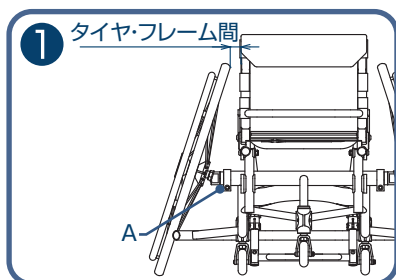
- シートフレームの左右の穴位置が合っているか確認してください。
- 調整した際に緩めたネジが、確実に固定されているか確認してください。
- 調整位置は操作可能な範囲で行ってください。無理な設定で操作しますと、ケガの原因になります。
- B-MAX TK/T-MAX TK/U-MAX TKはCのネジ部にウレタンブッシュを装着してあります。ネジを外す際に引っ掛かりなどがある場合は、潤滑油を塗布してから作業してください。無理やりネジを外すと、ウレタンブッシュが破損します。

タイヤ・フレーム間の調整

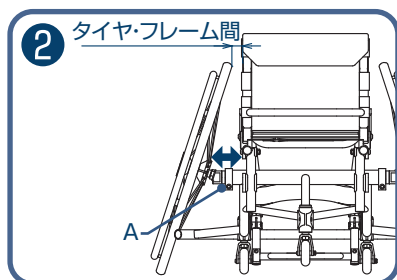
該当機種 TKタイプ / AJタイプ / DTタイプ / TRY-POタイプ

使用工具 ・対辺5mm六角レンチ

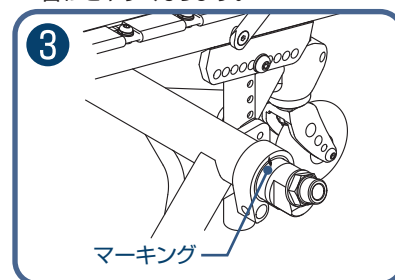
① 対辺5mmの六角レンチでAのネジを緩めます。



② キャンバーソケットを動かして最適な位置に調整し、①で緩めたネジを固定します。



③ キャンバーソケットを動かす前にマジック等でマーキングしておき、調整後マーキングで合わせると、トーイン・トーアウトが合わせやすくなります。



* 適正トルク 15N・m

⚠ 注意

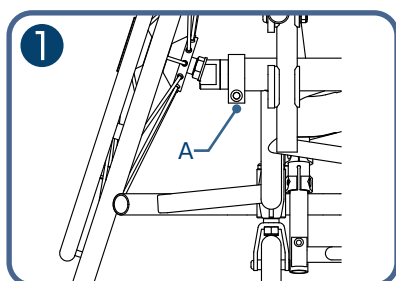
- キャンバーソケットを外側へ出しすぎますと、破損の恐れがあります。(最大50mmまで)
- キャンバーソケットの2面幅以上内側へ入れて使用しないでください。締付け不足により車軸ソケットが回る可能性があります。
- タイヤ・フレーム間を調整した際は、トーイン・トーアウトを確認してください。狂っている場合には走行に支障が出ます。

トーイン・トーアウトの調整

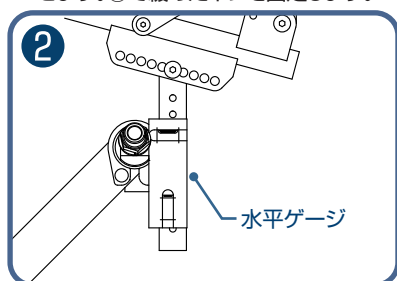
該当機種 TKタイプ / AJタイプ / TRY-POタイプ

使用工具 ・対辺5mm六角レンチ ・対辺26mmスパナ又はモンキーレンチ

① 対辺5mmの六角レンチでAのネジを緩めます。



② キャンバーソケットを車軸穴を前面に見て左右に動かし、ソケットの断面に水平ゲージを当てて、水平になる位置に合わせます。①で緩めたネジを固定します。



* 適正トルク 15N・m

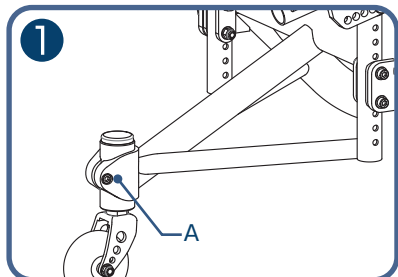
⚠ 注意

- キャンバーソケットを外側へ出しすぎますと、破損の恐れがあります。(最大50mmまで)
- キャンバーソケットの2面幅以上内側へ入れて使用しないでください。締付け不足により車軸ソケットが回る可能性があります。

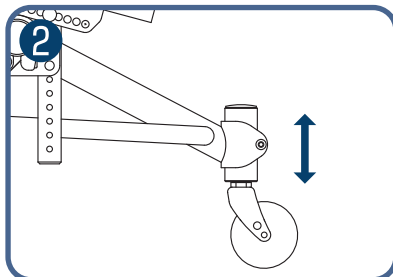
リアキャストの高さ調整

使用工具 ・対辺5mm六角レンチ

① 対辺5mmの六角レンチでAのネジを緩めます。



② リアキャストを動かして最適な位置に調整し、①で緩めたAのネジを固定します。



③ リアキャストの動きが硬い場合は、マイナスドライバー等で転倒防止クランプを軽く開くと、スムーズに動きます。

* 適正トルク 10N・m

⚠ 注意

- タイヤの空気圧が低い状態で調整しないでください。
- 使用者が乗車した状態で必ず確認してください。
- マイナスドライバーを使用してクランプを開く際は、強い力で無理に開かないでください。破損する恐れがあります。

※オプション…B-MAX TK/T-MAX TK

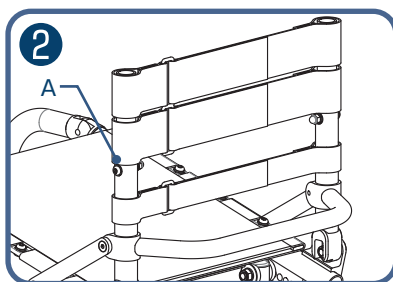
バックサポートの高さ調整

該当機種 AJタイプ / (一部TK / DT)

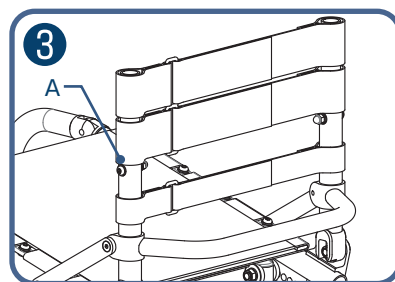
使用工具 ・対辺4mm六角レンチ ・対辺10mmスパナ

① 背クッション、インナーシート、バックトップカバーをはずします。

② 対辺4mmの六角レンチと対辺10mmのスパナを用いてAのネジを外します。



③ バックサポートパイプを動かして最適な位置に調整し、②で緩めたAのネジを固定し、背クッションを戻します。



* 適正トルク 6N・m

⚠ 注意

- バックサポートパイプの固定位置が左右合っていることを確認してください。
- 調整した際に緩めたネジが、確実に固定されているか確認してください。
- 調整位置は操作可能な範囲で行ってください。無理な設定で操作しますと、ケガの原因になります。

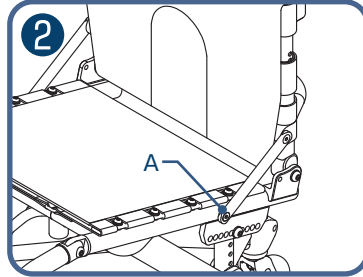
バックサポートの角度調整

該当機種 AJタイプ(一部TK/DT)

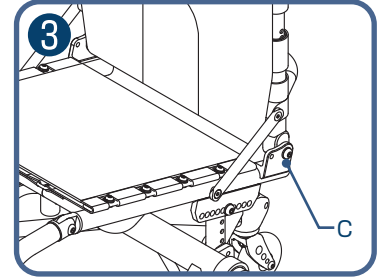
使用工具 ・対辺4mm六角レンチ ・対辺5mm六角レンチ

① 背クッションをはずします。

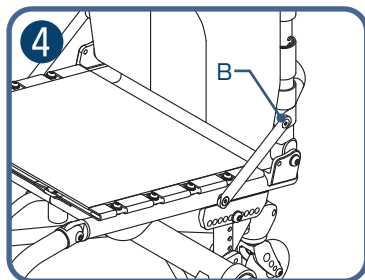
② 対辺4mmの六角レンチを用い、左右のAのネジを緩めます。



③ 対辺5mmの六角レンチを用い、左右のCのネジを緩めます。

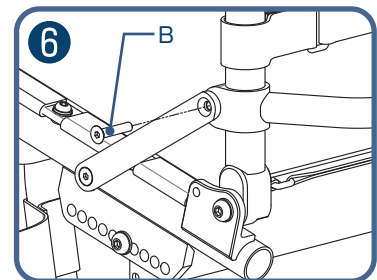


④ 対辺4mmの六角レンチを用い、左右のBのネジを外します。



⑤ バックサポートパイプを動かして最適な位置に調整します。

⑥ 調整した背角度で、背パイプ補強と背角度調整FBのBの位置を合わせ④で外したネジを締めます。



⑦ ②と③で緩めたネジを締め、背クッションを戻します。

* 適正トルク 10N・m

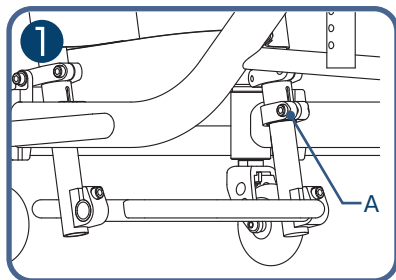
⚠ 注意

- 背角度調整FBを固定している皿ボルトの六角穴は非常になめやすいので、六角レンチをしっかりと奥まで入れてから作業してください。
- 調整した際に緩めたネジが、確実に固定されているか確認してください。
- 調整位置は操作可能な範囲で行ってください。無理な設定で操作しますと、ケガの原因になります。
- 背パイプ補強の動きが悪い場合は、マイナスドライバー等でクランプを開くと、作業しやすくなります。

フットサポートの高さ調整

使用工具 ・対辺5mm六角レンチ

- ① 対辺5mmの六角レンチを用い、Aのボルトをフットサポートポストが動くまで緩めます。



- ② フットサポートの高さを最適な位置に動かします。
※動きが悪い場合は、プラスチックハンマーなどで軽くたたいて動かしてください。

- ③ ①で緩めたネジを固定します。

* 適正トルク 10N・m



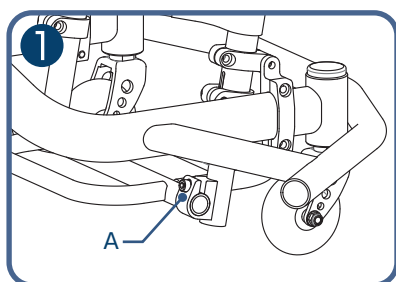
注意

- フットサポート高さ調整後は、フットサポートポストが確実に固定されていることを確認してください。使用中に外れ、転倒・転落事故の原因となります。

フットサポートの角度調整

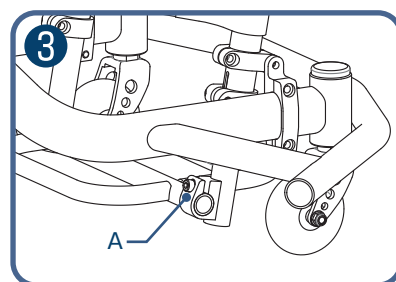
使用工具 ・対辺5mm六角レンチ

- ① 対辺5mmの六角レンチを用い、Aのボルトをフットサポートが動くまで緩めます。



- ② フットサポートの角度を最適な位置に動かします。

- ③ ①で緩めたネジを固定します。



* 適正トルク 10N・m



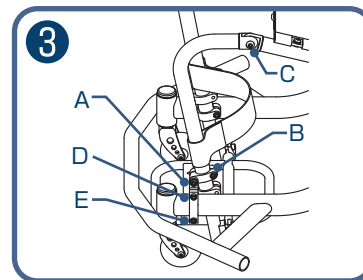
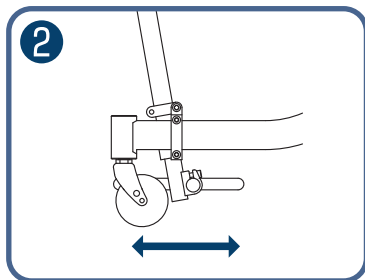
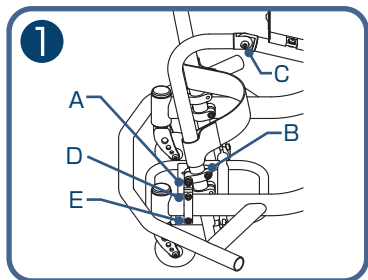
注意

- フットサポート角度調整後は、フットサポートポストが確実に固定されていることを確認してください。使用中にフットサポートが傾き、足が落ちてケガの原因となります。

フットサポートの前後調整

使用工具 ・対辺5mm六角レンチ

- ① 対辺5mmの六角レンチを用い、A、B、C、D、Eのネジを緩めます。
- ② レッグパイプとレッグパイプ取付クランプAを最適な位置に動かします。
- ③ ①で緩めたネジを固定します。



- ④ フットサポートを前後に移動すると、フットサポートの角度が変化します。フットサポートの角度調整を参照し、最適な角度に調整します。

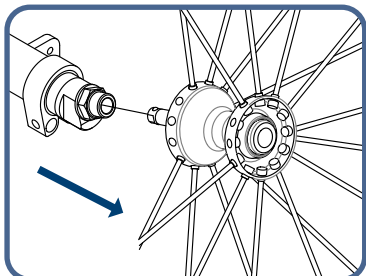
* 適正トルク 10N・m

⚠ 注意

- フットサポート前後調整後は確実に固定されていることを確認してください。使用中にフットサポートが動き転倒・転落事故の原因になります。
- キャストとフットサポートの干渉に注意してください。

着脱駆動輪の外し方

フレームを押さえ、駆動輪中央のロックボタンを親指で押したまま、駆動輪を引き抜きます。

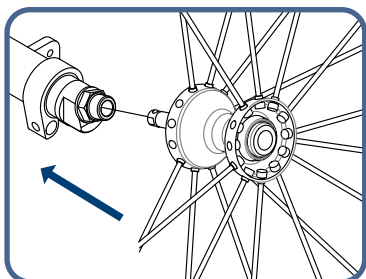


⚠ 注意

- 使用中は駆動輪中央のロックボタンを押さないでください。
駆動輪が外れて、転倒・転落事故の原因となります。

着脱駆動輪の取り付け方

駆動輪中央のロックボタンを親指で押したまま、シャフトを車軸穴に真っ直ぐに奥まで差込み、押している指を離す。



⚠ 注意

- ご使用前は、駆動輪が確実に固定されていることを確認してください。
使用中に外れ、転倒・転落事故の原因となります。

もしこんなトラブルが発生したときは

●車椅子を使用されていて故障かな、と思うトラブルが発生したら、修理を依頼する前に、下記項目を確認してください。

| トラブル | 確認点 | 対処 |
|-------------------|-----------------------------------|---------------------|
| タイヤの空気を入れてもすぐに抜ける | バルブは劣化していませんか | チューブを交換してください |
| 走行操作が重い | タイヤの空気圧は適正ですか | 空気を入れてください |
| | 駆動輪・キャスト輪(前輪)に、毛髪、ビニールが巻きついていませんか | 取り除いてください |
| 真っ直ぐ走らない | トーイン・トーアウトは合っていますか | (P9参照)トーイン・トーアウトの調整 |
| 異音やきしみ音がする | 各部のネジはゆるんでいませんか | しっかり締め直してください |

メンテナンス

●車椅子を快適に長くご使用いただくために定期的にメンテナンスを行ってください。

- * 適切な工具で、部品を損傷しないように作業してください。
- * 使用部品は、マツナガ純正部品を使用し、分解した部品は、順序良く整理して汚れを落とし、元通りに組み立ててください。
- * 作業に不安のあるときは、販売店にご相談ください。

点検

| 点検 | 整備 |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各部のゆるみ、ずれ、ねじれ、傷、破損はないか | 異常があれば修正して元通りにする。 程度によっては、販売店に相談して交換する。 |
| タイヤの亀裂、損傷、摩耗はないか | 使用限度を超えたものは、交換する。 |
| タイヤの空気圧は適正であるか | 空気を入れる。 適正タイヤ空気圧 ・25-540、25-559、.....700kPa(7.0kgf/cm ²) 25-590、25-622 (101.5PSI) |
| シー트의破損、糸切れはないか | 使用限度を超えたものは、交換する。 |

* 点検後、試乗して確認し、異音、違和感のある場合は、再度調整してください。

お手入れ方法

- 清掃は、水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に乾いた布で仕上げ拭きをしてください。揮発性剤(シンナー・ベンジン・アルコール類)では、清掃しないでください。変色したり、劣化の原因となります。ホースなどで、直接水をかけないでください。車輪及びフレーム内部・ブレーキ部に水滴が残り、錆の原因となります。
- タイヤの空気圧は、最適タイヤ空気圧を保ってください。空気圧が低いときは、補充してください。
- * オプションタイヤを使用の場合は、タイヤに記載の空気圧を保ってください。

保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。
故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ ● 直射日光が当たるようなところ ● 湿気の多いところ
- 高温になる場所 ● 炎天下

アフターサービス

万一故障の場合は、お買い上げいただきました販売店、または(株)松永製作所へ修理をお申しつけください。

保証について

お買い上げいただきました車椅子は競技専用車椅子となります。保証につきましては対象外となりますのでご了承ください。

商標について

下記ロゴマークは、(株)松永製作所の登録商標です。





株式会社 松永製作所

〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484

TEL 0584-35-1180(代) FAX 0584-35-1270

URL <https://www.matsunaga-w.co.jp>